

平成 17 年 12 月 5 日

市原市議会議員  
梶野 茂人様

ちはら台地区自治会連合会  
前田 延明

## 小・中学校建設の要望書に対する市長の回答書

常日頃はちはら台のまちづくりや福祉のためにご尽力頂き、誠にありがとうございます。

本日、先に要望書を出していました首題の件について別添の通り、回答書が届きましたので、ご移牒方々ご報告申し上げます。

内容は予想通り、ちはら台全体としてはそんなに増えていないので、「社会、経済状況により住宅建設状況も大きく変動する可能性もありますので、学校並びに地域からの情報や、児童・生徒の将来推計を注視しながら、建設時期を見極めていく」とのことです。

先日、教育委員会を訪問時に、営繕課は今の児童・生徒の増加について自然増 + アルファしか見こんでいないと言っており、推計値の把握の仕方に大きな開きがあります。増加要因のうち社会増が 80% であることの認識が極めて弱い感じがします。

本日、水の江小学校の下校時見守りパトロールを実施しましたが、東 4 丁目だけで 70 ~ 80 人の児童（本日は集団下校の日）と一緒に帰宅させ、非常に増えていることを改めて実感しました。

議会終了後教育委員会営繕課と打合せをする予定にしていますが、この問題は、人数と教室という量的物理的な問題もさることながら、質的な問題も含んでいる点をきちんと認識して貰うと共に、何よりも大きな少子化対策である点が重要であり、一方で避難場所確保の問題だと考えています。

12月市原市議会で厳しく質問・要請していただきたいと考えていますので、よろしく願います。

以上